

令和7年度 上目黒小学校学校経営方針

教育目標

- 考え表現する子（**か**んがえ）
- ◎認め合い協力する子（**み**んな仲良く）
- 健康でたくましい子（**め**あてに向かってがんばる子）

上目黒小が目指す学校 **－子どもが主体となって取り組む学校づくり－**

－TEAM KAMIMEGURO－

「祐天寺の街に愛され、児童・保護者の誇りである学校」

特色ある教育活動

1 地域教材・人材を活用した教育活動による保護者・地域と連携した学校づくり

- ① 総合的な学習の時間において、各学年で地域の教材（自然・歴史・文化・人）を活用した学習を行う。
- ② 関係諸機関及び地域との連携を深め、地域の教育力を積極的に活用するとともに、計画的に地域の諸活動へ参加するなど、地域との相互連携・協力体制づくりに努め、保護者・地域と協働で取り組む持続可能な学校づくりを目指す

2 児童の自己調整力、自己決定力をはぐくむ教育活動の推進

- ① 自己選択学習の時間（はかせタイム）をとおして、児童が課題設定から発表まで見通しをもち、活動することで学びの調整力をはぐくむ。
- ② 学習情報用端末と紙双方の利点を生かした授業により、児童の基礎学力・情報活用能力を育成する。
- ③ 中・高学年においては、理科・社会科・体育科等の指導に単元内自由進度学習や交換授業を取り入れ、個別最適な学びを実現する。

3 児童が主体的に創り出す特別活動、学校行事の充実

- ① 異学年交流（たてわり班活動）や異学年による学び合い（はかせタイム）を通じて、思いやりの心や実践力の育成を図る。
- ② 年間を通した特別活動や学校行事の中で、児童が自主的に計画・実行する機会を増やし、児童同士のコミュニケーションや相互理解を進め、心理的安全性や自己肯定感、他者理解を深める。